

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	ハラスメント対策の相談窓口は設置されているが、指針やマニュアル整備、研修等の実施が確認できなかった。	ハラスメント対策の整備、研修の実施を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメント対策の指針を作成する。 ハラスメントについての研修を実施する。 	6 か月
2	14	重度化について、事業所での対応が難しいことを入居時にご家族へ口頭で説明しているが、指針やマニュアル、同意書の作成にまだ取り組んでいない。	重度化について、ご家族へ文書での説明ができるように指針を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 重度化対応の指針、マニュアル、同意書を作成する。 	3 か月
3	15	事故等の集計・分析がされていない。介護現場での事故防止や再発防止にはマニュアルに沿った実践と、事故発生時の正しい要因分析や対応策の検討等の早期の取り組みが望まれる。	事故再発防止の対策が効果的に行えるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 過去の事故等の集計・分析を行い、事故発生の傾向等を職員へ周知する。 	3 か月
4	16	各種災害を想定した防災マニュアルを整備し、備蓄については職員や緊急時受け入れを含めた食料や水等の整備が望まれる。地域防災コミュニティ施設と協同での災害時取り組みにも期待したい。	各種災害に対応できるようにマニュアルを整備し、地域の住民と協同での災害時取り組みが行えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 各種災害のマニュアルを作成する。 備蓄食を見直し、適切な量を確保する。 防災コミュニティ施設と協同での防災訓練を開催する。 	12 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。